

東日本大震災災害対策NEWS

◇東日本の仲間とともにがんばろう◇

No.1 2011/03/18

「東日本大震災」助け合いの訴え

中央執行委員長 鈴木 稔

三月十一日（金）午後二時四十六分、太平洋三陸沖を震源とした地震は、マグニチュード九・〇という観測史上最大級の巨大地震で、特に津波による被害は甚大でした。被災され苦しんでおられる皆様に心より御見舞い申し上げます。埼玉土建の仲間の多くの出身地には、震災を受けた東北、信越、関東地方が多く、家族、親戚、友人、知人の安否が心配の事と思います。被害を受けた地域の捜索活動が始まりましたが、全体像が見えない中、死者、行方不明が増え続けています。さらに福島原子力発電所での重大な原子力災害も発生し、政府と電力会社の不明瞭な対応に国民の不安と怒りが募っています。政府による万全な対策と正確な情報の提供こそが、今求められています。埼玉土建では、三月十四日（月）に「埼玉土建災害対策本部」を立ち上げました。また募金も呼びかけることも確認しました。埼玉土建の仲間にも家屋の破損をはじめ、被害が出ています。各支部に被害情報をお寄せください。被災地への支援活動をはじめ、仲間同士の協力と励まし合いが大切な時です。全労連・全建総連からの災害救済支援の呼びかけにこたえ、労働組合の助け合いの真価を発揮されることを心からお願ひするものです。

仲間の住宅被害は三百件を超え、深刻な実態が広がる

三月十一日に発生した東日本大震災は、東北・関東を中心に、大きな被害をもたらし、多くの住民の命と暮らしを奪いました。仲間の住宅被害は三百件を超え、ふじみ野支部の仲間には停電によって、発電機を使用し、一酸化中毒なり、夫婦して亡くなるという痛ましい事故も起こっています。したがって大震災による仲間の深刻な被害の実態をつかむことが急がれます。

そんな厳しさの中、仲間は地域住民の住宅被害を救済するために全県各地で奮闘しています。特に屋根の瓦の被害やブロック塀の損壊、水道配管の破損などが広がり、応急処置が急がれます。各支部ではそんな被害の広がりから各自治体へ埼玉土建の社会的な役割を前面に要請行動も広がっています。

今こそ、安心安全なまちづくりの担い手、埼玉土建の出番!



山川県議が同行し、埼玉県へ要請

埼玉県へ要請

「ブルーシートや建築資材、ガソリン不足は深刻な問題。復旧作業が大幅に遅れる、国、関係企業、団体へ迅速な要請を」

三月十六日、埼玉県へ仲間の深刻な声を届けに要請を行いました。ガソリン不足、建築資材不足は、震災復旧作業の大幅な遅れと住民不安を煽るもので、早急な県からの要請をお願いしました。あわせて、震災直後から埼玉土建の組合員が全権各地で災害復旧で県民の日常生活を守るために奮闘していることも報告し、県内三十三か所（猿島土建は茨城県で奮闘）に支部事務所を構える埼玉土建へ、今回による住宅災害は埼玉土建が支援することを伝え、埼玉建の県内における大きな存在であることと労働組合としての社会的役割を説明しました。

仲間の被害状況、また地域で奮闘している状況など情報をお寄せください。

仲間の奮闘～全県各地で住宅被害の復旧作業にがんばる

【猿島】震災翌日 12 日、13 日には役員、書記局で仲間の状況をつかむために訪問行動。予想以上の住宅被害が仲間に広がっている。住民からも組合員へ直接、応急処置の依頼で 2 件。その後毎日のように仲間へ住民から屋根修理、倒壊物の除去等の相談が届いている。

【さいたま南】住民から応急処置の依頼が支部事務所へ。すでに 2 件の相談は、ホームドクターなび登録業者、施工会のメンバーが対応。

【比企西部】今回の震災で不安になった住民から支部事務所へ相談。ボランティアで家具転倒防止金具を取り付け、住民も不安が解消に。

【所沢】所沢中央分会の田中さんは休日返上して、被害のあった住宅の屋根修理に奮闘。

【本庄】美里町で屋根が壊れた家が 130 件にものぼり、埼玉土建に要請され、仲間 4 人が 13 日に応急処置で対応。住民から大変喜ばれる。

【新座】県の公共工事をおこなっている土木工事業の仲間が、ゼネコンを通じて被災地への協力要請があり、これから被災地へ向かう。

【東松山】震災直後（13 日、20 日）に川島①・②の分会 4 役を中心に 10 人が集まり、自主的に川島町内の被災家屋の屋根の応急措置（ブルーシート）を行う。

県内自治体への申し入れ状況

【草加支部】17 日に市役所へ訪問。ティッシュとマスクを差し入れ、大変喜ばれる。市役所も地震によって亀裂が入る。避難者の受け入れ体制を作っている段階。要請については快く受け取る。

【ふじみ野支部】17 日に富士見市へ訪問。ティッシュを差し入れ、感謝される。組合としてできることを伝え、自治体から期待される。

【川越支部】18 日に市役所訪問。埼玉土建の要請に早速、市長との懇談。具体的に埼玉土建へお願いしたいことをまとめ数日以内に依頼予定になる。組合の存在意義が自治体へも大きな存在になっている。

【吉川松伏支部】18 日に吉川市、松伏町へ要請。吉川市では 200 件の被災、松伏町でも 30 件の被災状況。避難者（福島から）の受け入れも吉川市では 100 人を受け入れる準備。

【蕨戸田支部】17 日に蕨市（安心安全推進課）、戸田市（危機管理防災課）へ申し入れ。被災者受け入れ、住宅確保を調整中。

ブルーシート、募金の訴え

□東日本大震災関連の連絡③でご連絡をしていますが、埼玉土建は茨城県連・千葉土建に対して見舞いに駆けつけることにしています。

支部（猿島土建除く）に備蓄してあれば①ブルーシート（新品）②ボックスティッシュ③拡大タオル④50 枚 1 箱マスク（2009 年に配布）の在庫報告を 23 日（水）までにご連絡をお願いします。

*既に自治体等で提供先が決まっている物は除く。2011 年春の拡大月間分除く。

□埼玉土建としての募金活動については、4 月の中央執行委員会での提案事項となります。